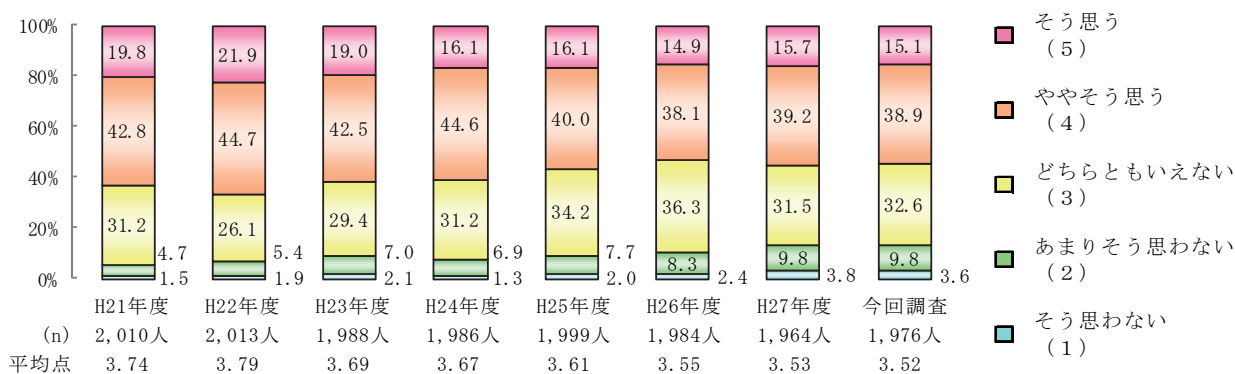
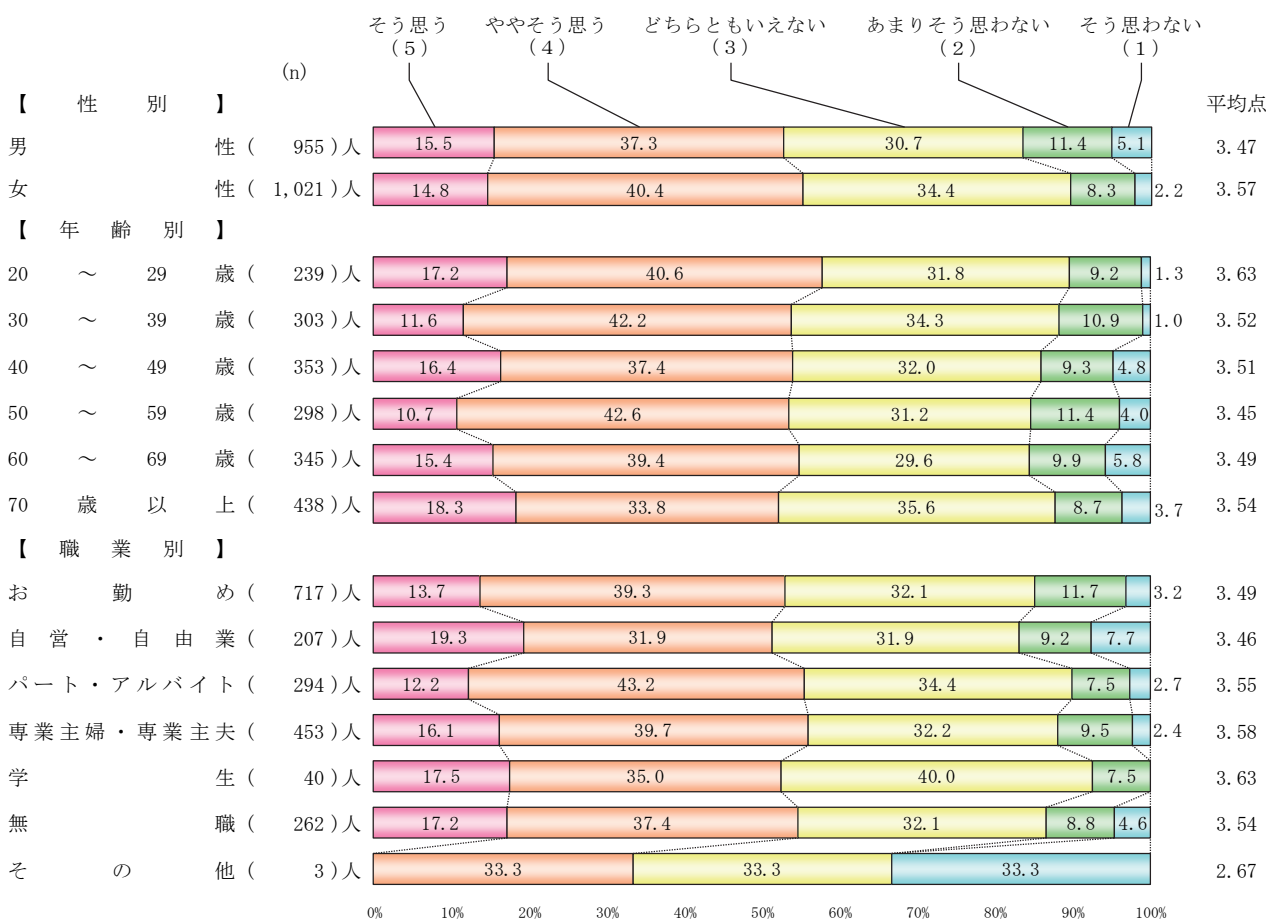


Q 7 (e) 裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった

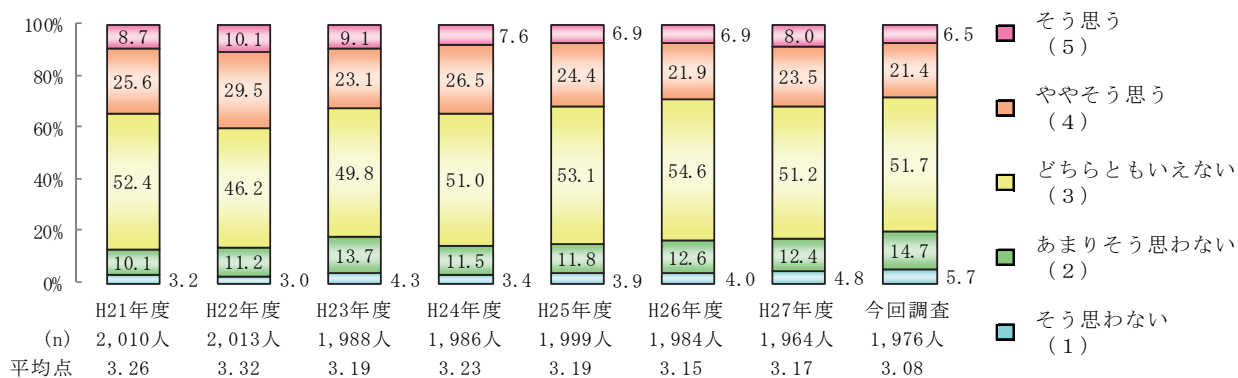


裁判員制度実施後の変化として『裁判の結果（判断）に国民の感覚が反映されやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は54.0%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は13.4%となっている。

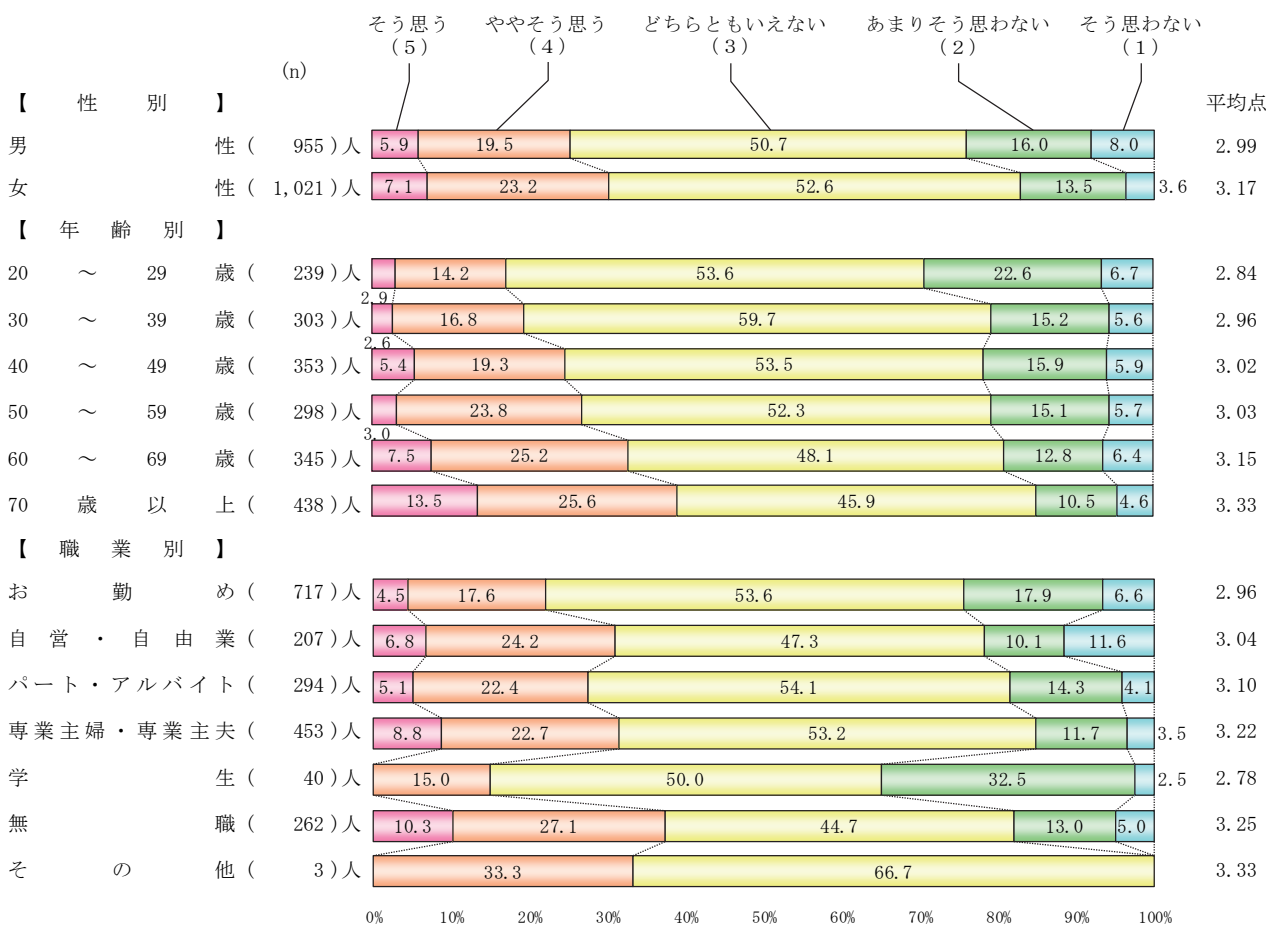


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別、職業別、いずれも大きな差はみられない。

Q 7 (f) 事件の真相がより解明されている

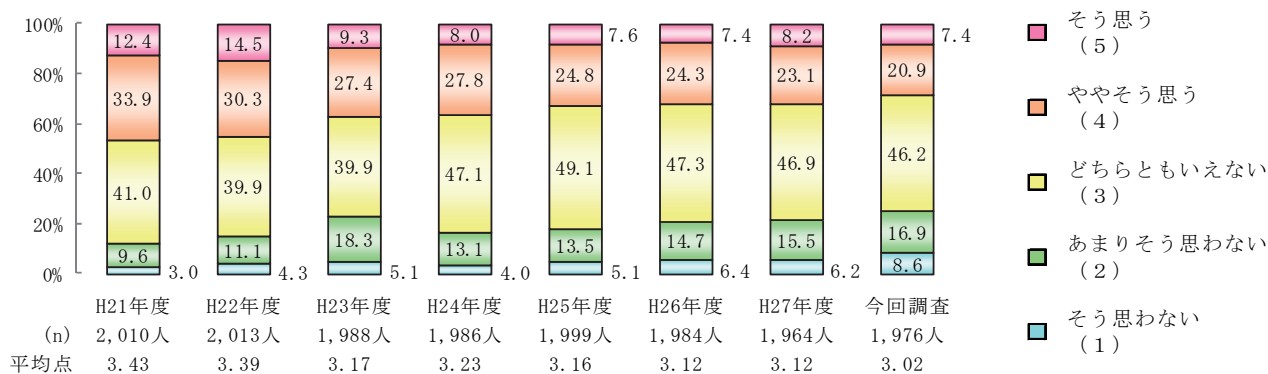


裁判員制度実施後の変化として『事件の真相がより解明されている』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は27.9%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は20.4%となっている。

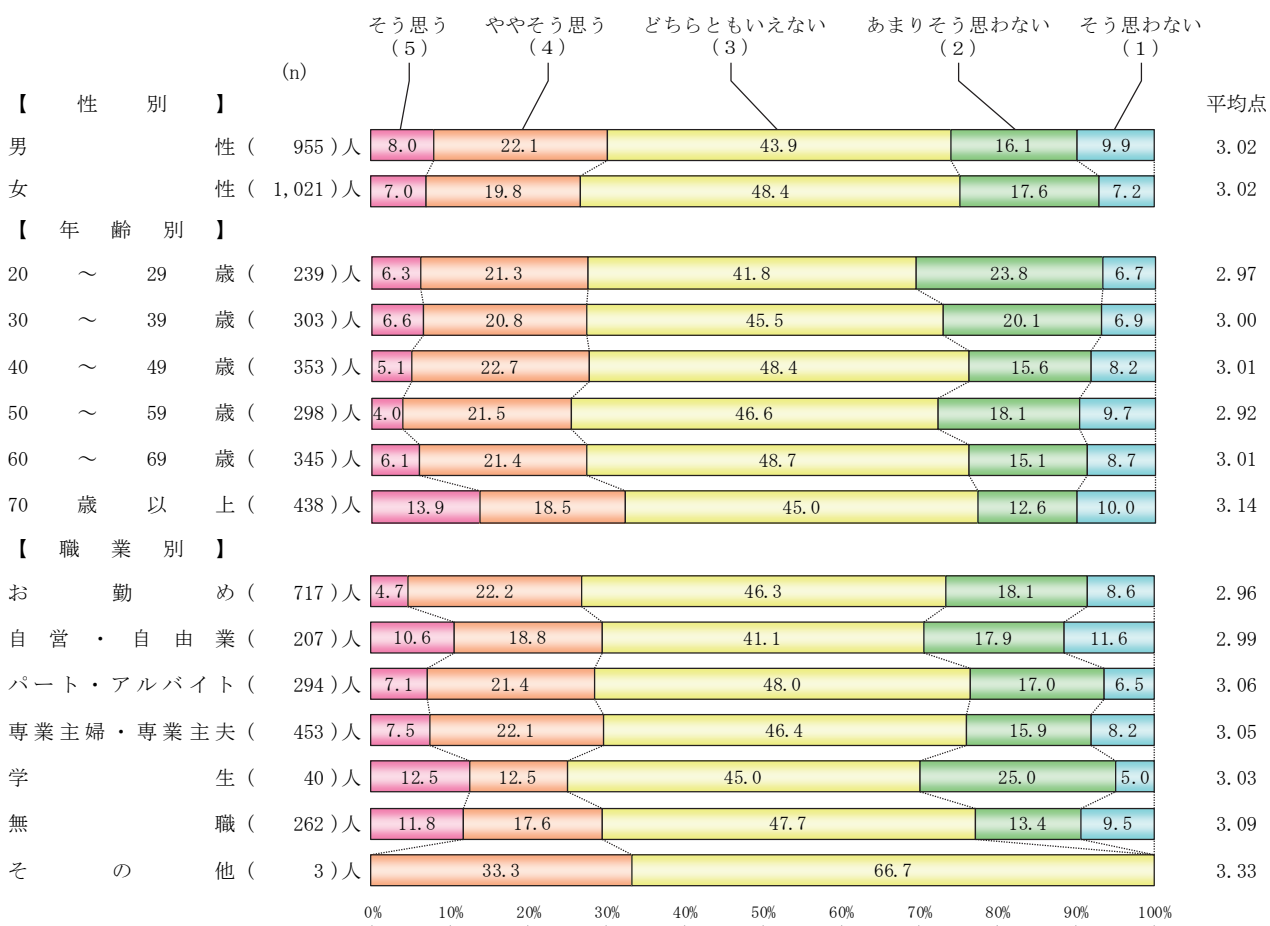


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、無職が最も高くなっている。

Q 7 (g) 裁判の手续や内容がわかりやすくなった

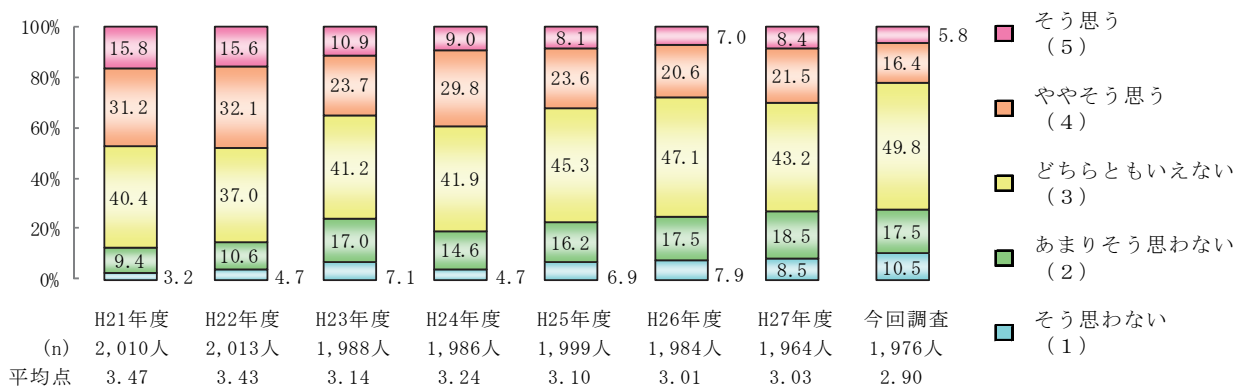


裁判員制度実施後の変化として『裁判の手续や内容がわかりやすくなった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は28.3%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は25.5%となっている。

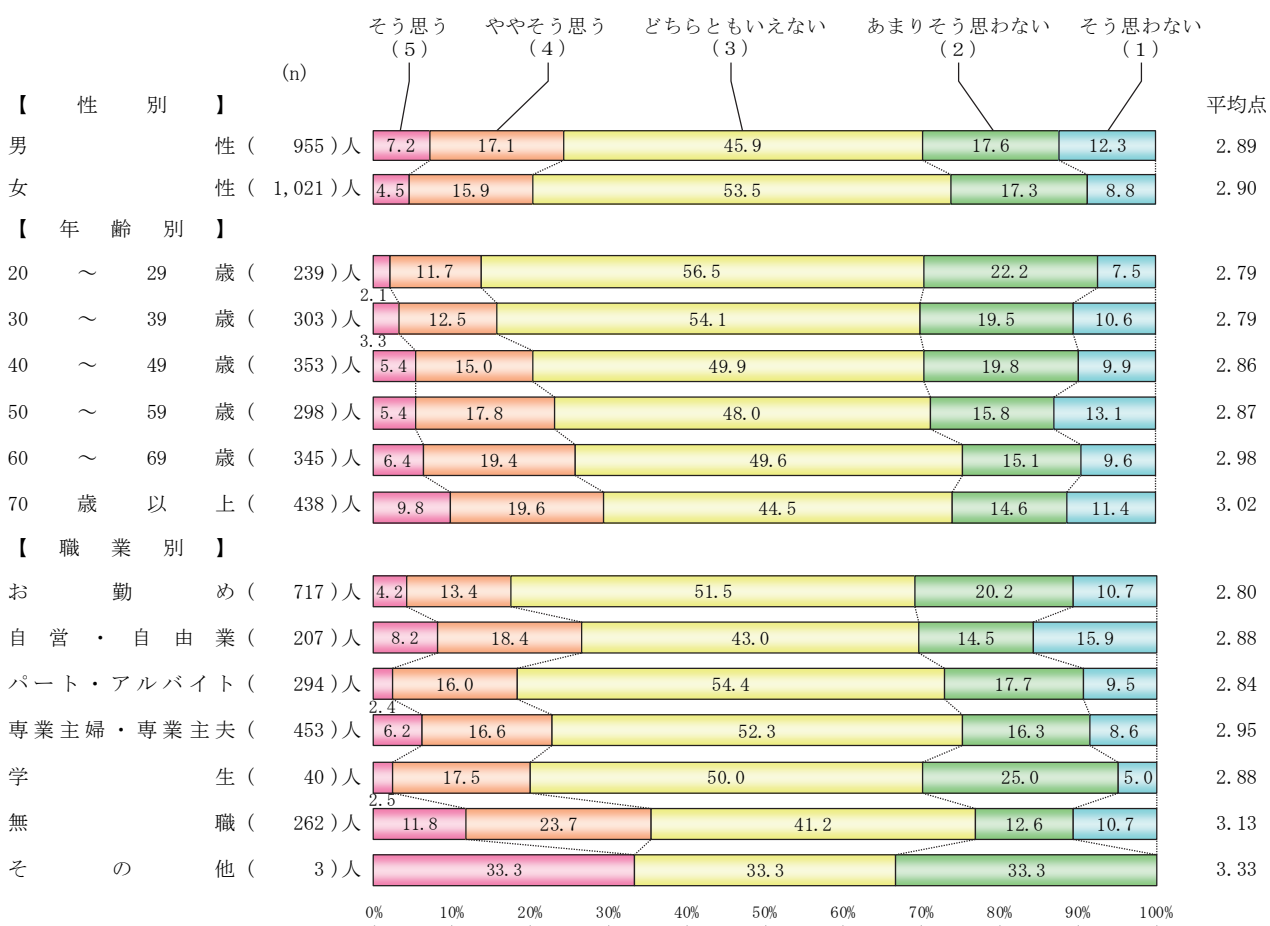


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別、職業別、いずれも大きな差はみられない。

Q 7 (h) 裁判が迅速になった

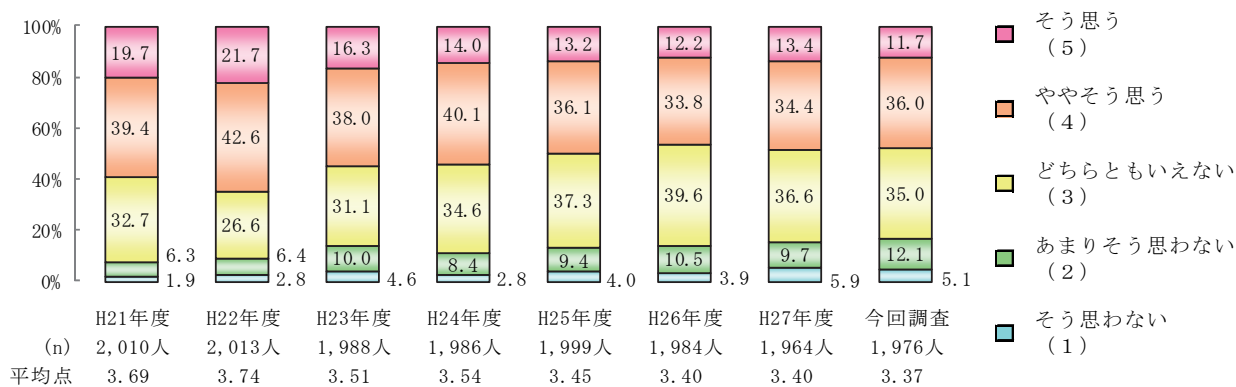


裁判員制度実施後の変化として『裁判が迅速になった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）は22.2%，『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）は28.0%となっている。

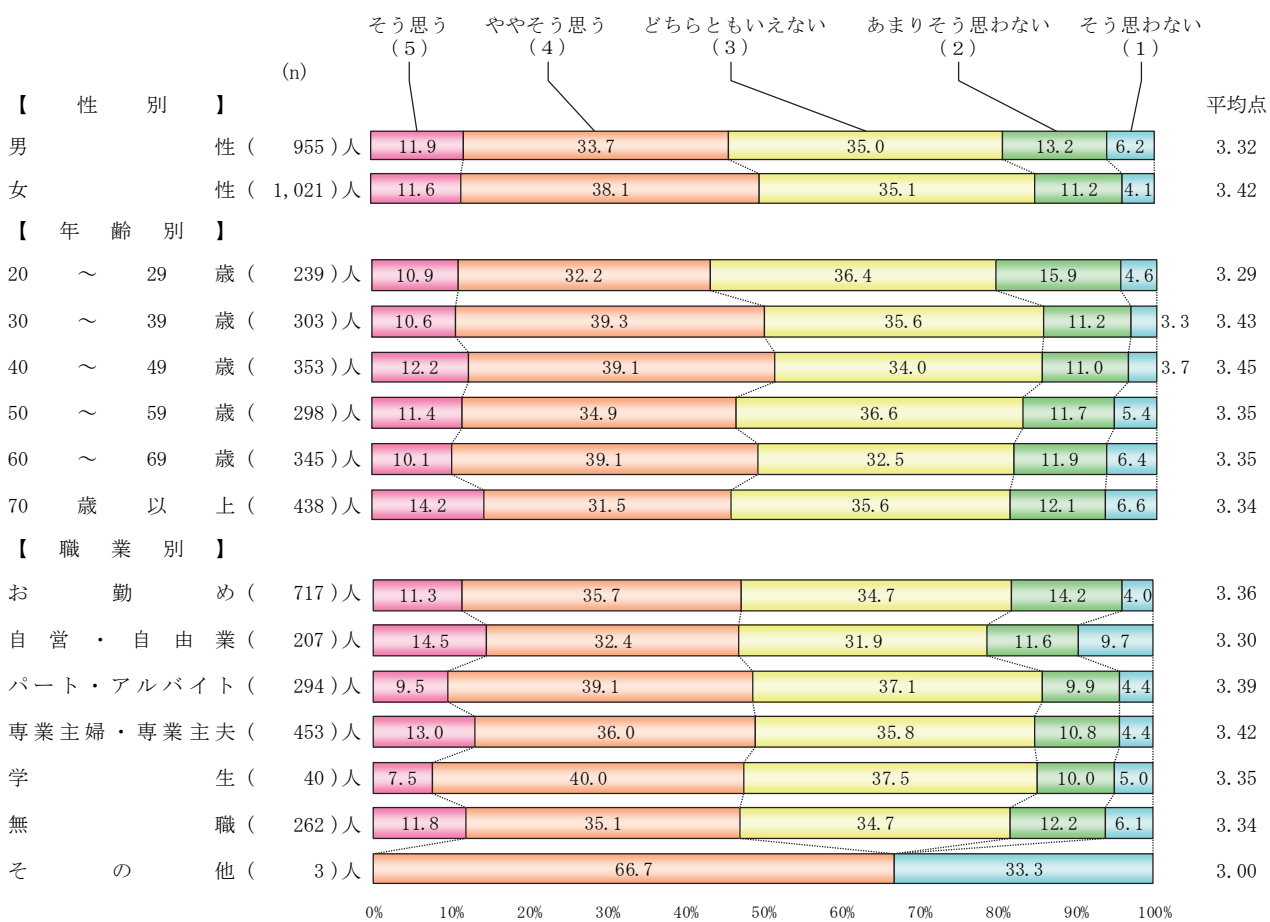


『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別では、大きな差はみられない。年齢別では、70歳以上が最も高く、職業別では、お勤めが最も低くなっている。

Q7(i) 刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった



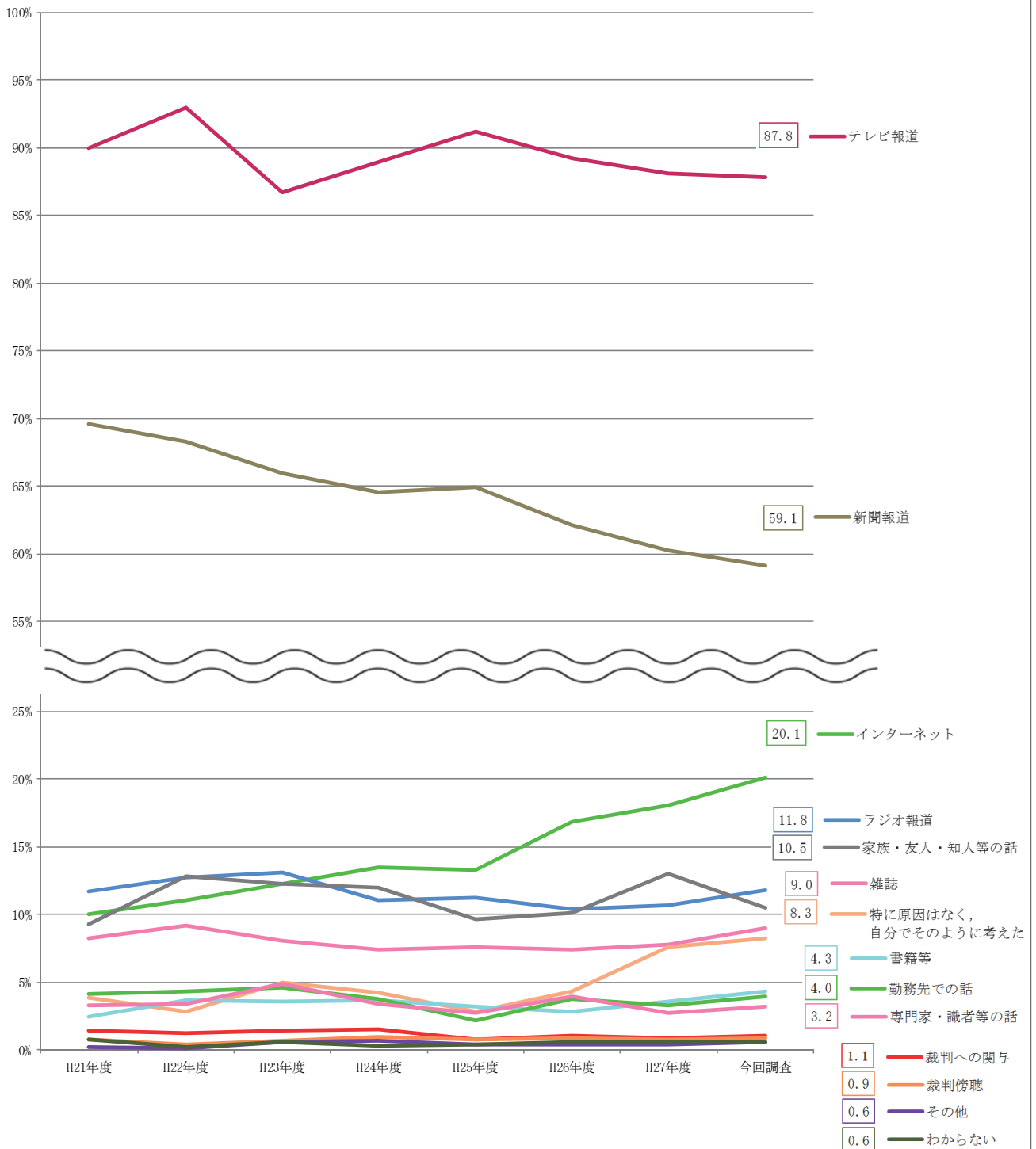
裁判員制度実施後の変化として『刑事裁判や司法など公の事柄について、国民の関心が増して自分の問題として考えるようになった』という印象では、『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）は47.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）は17.2%となっている。



『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」）と答えた者の割合は、男女別、年齢別、職業別、いずれも大きな差はみられない。

## 8 裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因

Q8 【回答票8】 あなたが前問のような印象を持つことになった原因は何ですか。当てはまるものを、次の中から全てあげてください。(M. A.)



※各折れ線横の数値は今回調査の数値。平成27年度調査以前の数値は次頁を参照。

(n=1,976人, M.T.=221.1%)

現在実施されている裁判員制度についてQ7の印象を持つことになった原因を聞いたところ、「テレビ報道」が87.8%と最も高く、次いで「新聞報道」が59.1%であった。以下、「インターネット」(20.1%)、「ラジオ報道」(11.8%)、「家族・友人・知人等の話」(10.5%)などとなっている。

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	今回調査
該当数 (n)	2,010	2,013	1,988	1,986	1,999	1,984	1,964	1,976
テレビ報道	90.0	93.0	86.7	88.9	91.2	89.2	88.1	87.8
新聞報道	69.6	68.3	65.9	64.5	64.9	62.1	60.2	59.1
インターネット	10.0	11.1	12.3	13.5	13.3	16.9	18.1	20.1
ラジオ報道	11.7	12.7	13.1	11.1	11.2	10.4	10.7	11.8
家族・友人・知人等の話	9.3	12.8	12.3	12.0	9.7	10.1	13.0	10.5
雑誌	8.3	9.2	8.1	7.4	7.6	7.4	7.8	9.0
特に原因はなく、自分でそのように考えた	3.9	2.8	5.0	4.2	2.8	4.3	7.6	8.3
書籍等	2.5	3.7	3.6	3.7	3.2	2.8	3.6	4.3
勤務先での話	4.1	4.3	4.6	3.8	2.2	3.8	3.3	4.0
専門家・識者等の話	3.3	3.4	4.9	3.4	2.7	4.0	2.7	3.2
裁判への関与	1.4	1.2	1.4	1.5	0.8	1.1	0.9	1.1
裁判傍聴	0.8	0.4	0.7	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9
その他	0.2	0.1	0.6	0.7	0.4	0.4	0.4	0.6
わからない	0.8	0.2	0.6	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6

	該当数 (n)	テレビ報道	新聞報道	インターネット	ラジオ報道	家族・友人・知人等の話	雑誌	特に原因はなく、自分でそのように考えた	書籍等	勤務先での話	専門家・識者等の話	裁判への関与	裁判傍聴	その他	わからない	回答計
TOTAL	1,976	87.8	59.1	20.1	11.8	10.5	9.0	8.3	4.3	4.0	3.2	1.1	0.9	0.6	0.6	221.1
【性別】																
男性	955	84.5	62.3	25.2	14.3	8.1	10.3	9.3	5.5	5.2	4.8	1.6	0.9	0.7	0.7	233.6
女性	1,021	90.8	56.0	15.4	9.5	12.7	7.7	7.3	3.1	2.8	1.7	0.6	0.8	0.4	0.4	209.3
【年齢別】																
20～29歳	239	83.3	28.0	32.6	5.4	9.2	2.5	11.3	1.3	3.3	2.1	-	0.8	1.7	0.8	182.4
30～39歳	303	83.5	37.3	30.7	6.6	7.6	4.6	10.9	2.3	5.3	3.0	1.3	0.3	-	0.7	194.1
40～49歳	353	86.4	56.9	25.8	8.5	9.3	8.5	8.8	4.0	7.4	2.0	1.4	0.3	0.3	0.3	219.8
50～59歳	298	91.9	66.4	24.2	10.7	9.4	13.4	6.7	5.4	5.4	4.7	0.7	1.7	0.7	-	241.3
60～69歳	345	89.6	78.0	13.9	15.7	13.9	10.7	5.8	5.5	2.0	4.9	1.7	0.6	0.9	0.9	244.1
70歳以上	438	90.0	72.8	3.7	19.4	12.1	11.4	7.5	5.9	1.4	2.5	0.9	1.4	0.2	0.7	229.9
【職業別】																
お勤め	717	84.7	52.9	29.6	9.1	8.8	8.2	9.2	3.6	7.8	3.8	1.3	0.7	0.8	0.7	221.1
自営・自由業	207	87.4	64.3	18.8	19.8	9.2	11.1	8.2	3.4	2.9	5.8	0.5	1.0	0.5	-	232.9
パート・アルバイト	294	87.4	52.0	18.0	10.5	12.9	6.8	10.5	3.1	4.4	2.0	1.0	0.3	0.7	0.7	210.5
専業主婦・専業主夫	453	92.9	62.9	11.0	11.5	13.7	10.2	5.7	4.4	0.7	1.3	0.4	1.1	0.2	0.4	216.6
学生	40	80.0	40.0	40.0	2.5	7.5	-	10.0	-	-	-	-	2.5	2.5	-	185.0
無職	262	88.9	76.3	9.9	16.4	8.4	10.7	7.6	8.4	0.4	4.2	2.3	1.1	-	0.8	235.5
その他	3	100.0	33.3	66.7	33.3	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	333.3

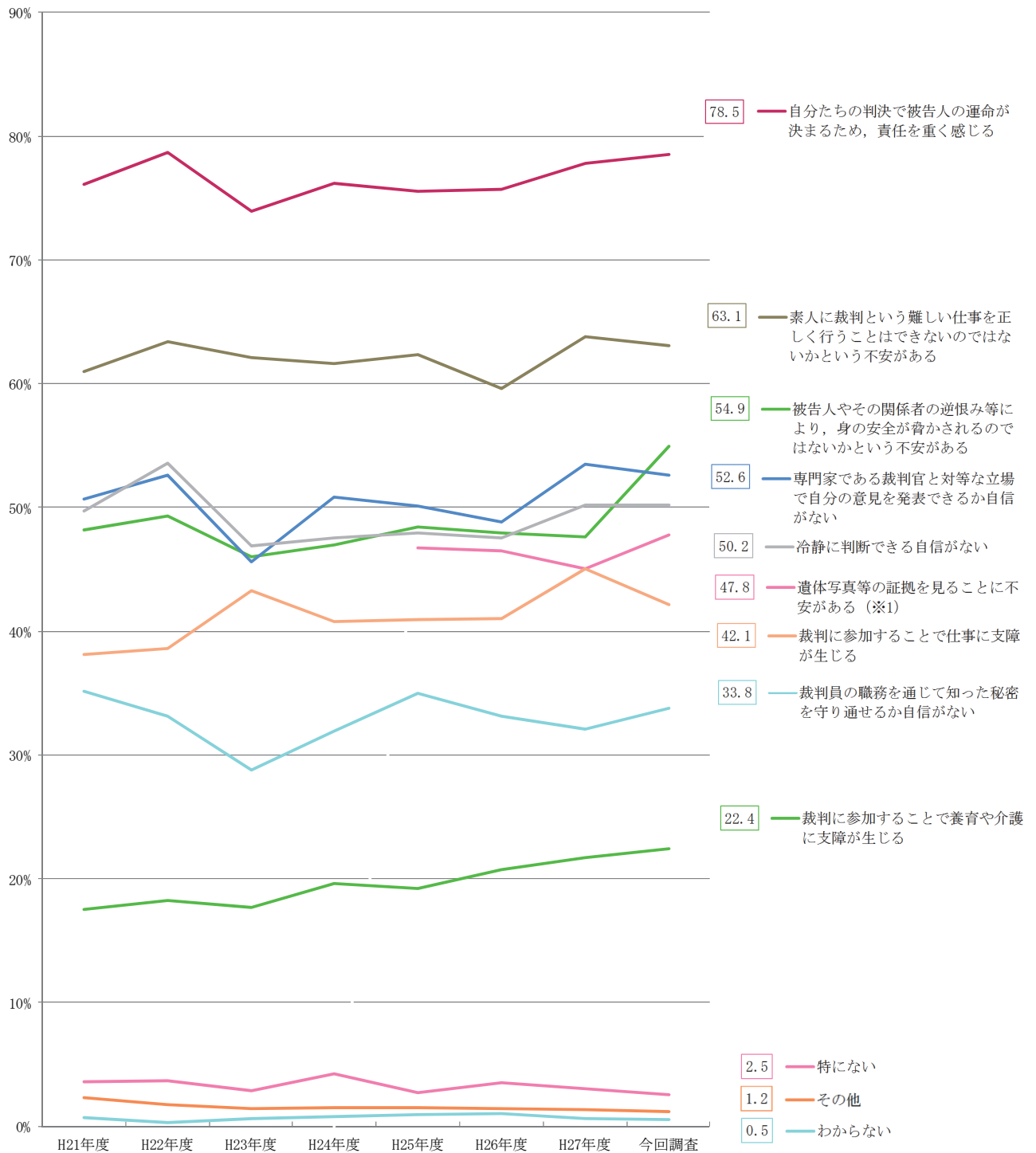
男女別にみると、「新聞報道」、「インターネット」「ラジオ報道」は男性で高く、「テレビ報道」「家族・友人・知人等の話」は女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「テレビ報道」は大きな差はみられず、「新聞報道」は50代以上で、「インターネット」は20代から50代で、「ラジオ報道」は70歳以上でそれぞれ高くなっている。

職業別にみると、「テレビ報道」は専業主婦・専業主夫で高く、「新聞報道」は無職で高く、「インターネット」は学生で高くなっている。

## 9 裁判に参加する場合の心配や支障となるもの

Q 9 【回答票 9】 あなたが刑事裁判に参加するとした場合、あなたにとって心配や支障となるものはどれですか。当てはまるものを、次の中からすべてあげてください。(M. A.)



※ 1 「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」は平成 25 年度より新設された選択肢のため、平成 21～24 年度調査時のデータは存在しない。

※ 2 各折れ線横の数値は今回調査の数値。平成 27 年度調査以前の数値は次頁を参照。

(n=1,976 人, M. T. =449.5%)



刑事裁判に参加するとした場合に心配や支障となるものとしては、「自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる」が78.5%と最も高く、以下、「素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある」(63.1%)、「被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかと不安がある」(54.9%)、「専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない」(52.6%)、「冷静に判断できる自信がない」(50.2%)、「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」(47.8%)、「裁判に参加することで仕事に支障が生じる」(42.1%)、「裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない」(33.8%)、「裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる」(22.4%)などとなっている。

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	今回調査
該当数 (n)	2,010	2,013	1,988	1,986	1,999	1,984	1,964	1,976
自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる	76.1	78.7	73.9	76.2	75.5	75.7	77.8	78.5
素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある	61.0	63.4	62.1	61.6	62.3	59.6	63.8	63.1
被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかと不安がある	48.2	49.3	46.0	47.0	48.4	47.9	47.6	54.9
専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない	50.7	52.6	45.6	50.8	50.1	48.8	53.5	52.6
冷静に判断できる自信がない	49.7	53.6	46.9	47.5	47.9	47.5	50.2	50.2
遺体写真等の証拠を見ることに不安がある (※)					46.7	46.5	45.0	47.8
裁判に参加することで仕事に支障が生じる	38.1	38.6	43.3	40.8	40.9	41.0	45.0	42.1
裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない	35.1	33.1	28.8	31.9	35.0	33.1	32.1	33.8
裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる	17.5	18.2	17.7	19.6	19.2	20.7	21.7	22.4
特になし	3.6	3.7	2.9	4.2	2.7	3.5	3.0	2.5
その他	2.3	1.7	1.4	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2
わからない	0.7	0.3	0.6	0.8	0.9	1.0	0.6	0.5

※「遺体写真等の証拠を見ることに不安がある」は平成25年度より新設された選択肢のため、平成21～24年度調査時のデータは存在しない。

	該当数 (n)	自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる	素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある	被告人やその関係者の逆恨み等により、身の安全が脅かされるのではないかと不安がある	専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない	冷静に判断できる自信がない	遺体写真等の証拠を見ることに不安がある	裁判に参加することで仕事に支障が生じる	裁判員の職務を通じて知った秘密を守り通せるか自信がない	裁判に参加することで養育や介護に支障が生じる	特になし	その他	わからない	回答計
TOTAL	1,976	78.5	63.1	54.9	52.6	50.2	47.8	42.1	33.8	22.4	2.5	1.2	0.5	449.5
【性別】														
男	955	71.4	57.4	50.2	46.3	41.6	33.7	47.4	32.0	16.0	3.7	1.2	0.3	401.2
女	1,021	85.2	68.4	59.4	58.5	58.2	61.0	37.0	35.4	28.4	1.4	1.3	0.7	494.7
【年齢別】														
20～29歳	239	74.5	56.5	49.8	41.8	41.4	40.2	41.4	26.4	12.1	2.1	0.4	-	386.6
30～39歳	303	76.2	54.1	52.5	40.9	37.6	42.2	51.5	24.8	20.1	2.0	0.3	0.3	402.6
40～49歳	353	79.6	58.1	59.2	47.6	45.6	49.3	54.1	32.3	27.8	1.4	0.6	-	455.5
50～59歳	298	79.5	64.1	56.0	54.7	55.0	48.7	57.7	40.9	26.8	3.4	1.0	0.3	488.3
60～69歳	345	82.6	70.1	55.1	57.4	59.4	50.4	33.6	39.7	22.9	2.0	0.9	0.3	474.5
70歳以上	438	77.6	70.5	55.0	65.3	56.6	52.1	22.1	35.6	21.9	3.7	3.2	1.6	465.3
【職業別】														
お勤め	717	74.1	57.5	51.9	45.7	41.6	38.1	56.5	30.4	16.2	2.5	0.6	0.3	415.2
自営・自由業	207	81.2	57.5	50.2	46.9	48.3	39.6	65.2	36.7	21.3	2.4	1.4	-	450.7
パート・アルバイト	294	82.3	68.7	60.5	57.1	59.2	58.5	51.7	36.1	29.3	0.7	0.7	-	504.8
専業主婦・専業主夫	453	84.1	70.0	59.2	60.0	58.3	62.9	19.9	35.3	32.0	1.5	1.5	1.3	486.1
学生	40	80.0	47.5	37.5	30.0	37.5	30.0	30.0	27.5	7.5	2.5	-	-	330.0
無職	262	74.4	66.4	55.3	61.5	53.1	45.4	13.7	35.9	18.3	6.1	3.1	0.8	434.0
その他	3	100.0	100.0	100.0	33.3	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	-	-	-	566.7

男女別に見ると、上位6項目はいずれも女性で高くなっている。

年齢別に見ると、「自分たちの判決で被告人の運命が決まるため、責任を重く感じる」は大きな差はみられず、「素人に裁判という難しい仕事を正しく行うことはできないのではないかという不安がある」は60代以上で高くなっている。

職業別に見ると、「専門家である裁判官と対等な立場で自分の意見を発表できるか自信がない」は無職と専業主婦・専業主夫で高くなっている。